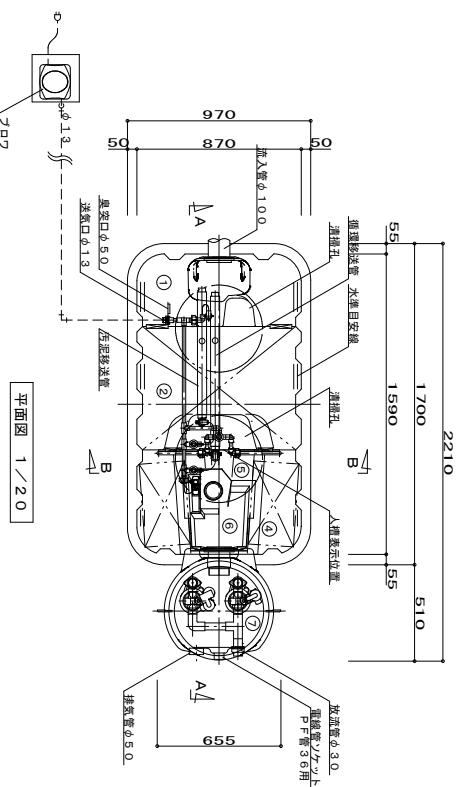
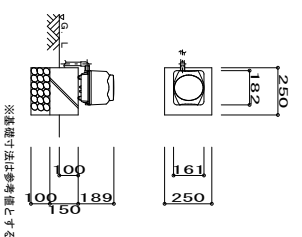


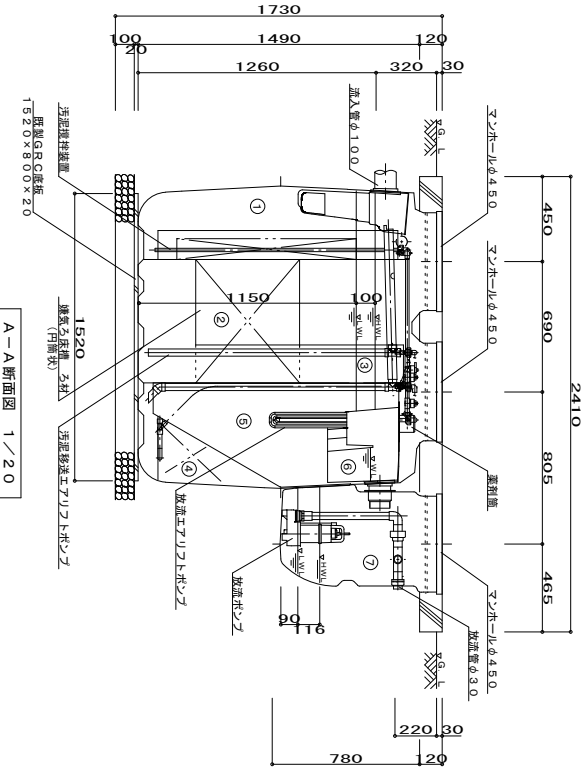
一般事項	FC=21N/mm ²
コンクリート	SD29.5A
鉄筋	40D
定着長継手	D13コンクリート
開口部強筋	鉄石又はRC 4.0~0
地盤	業



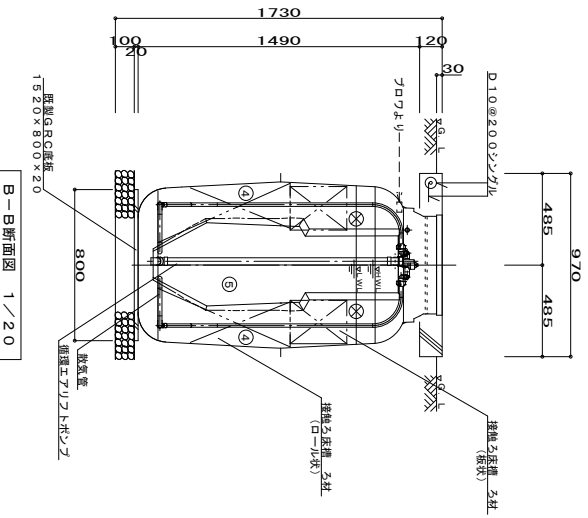
平面図 1/20



フロロ平・断面図 1/20



A-A断面図 1/20



B-B断面図 1/20

仕様表

設計番号	CA-5型
型式名称	5人
処理対象人員	1. 00m ³ /d
汚水量	BOD 20mg/L COD 30mg/L T-N 45mg/L SS 150mg/L
流入水量	1. 00m ³ /d
排水水量	BOD 20mg/L COD 30mg/L T-N 20mg/L SS 150mg/L
① 液体分層槽	有効容量 0.317 m ³
② 液気分層槽	有効容量 0.600 m ³
③ ヒートシャフト部	有効容量 0.120 m ³
④ 液気分層槽	有効容量 0.296 m ³
⑤ 浮遊物槽	有効容量 0.165 m ³
⑥ 消濁槽	有効容量 0.015 m ³
⑦ 放流ポンプ槽	有効容量 0.029 m ³
⑧ 総容量	1.513 m ³
機器仕様	
液気分層槽ろ材 (円筒状)	PPまたはPE 充填率 43%
液気分層槽ろ材 (円筒状)	PPまたはPE 充填率 61%
接合ろ材槽ろ材 (板状)	PPまたはPE 充填率 21%
フロロ	60L/min φ13 運転速度 1台
放流ポンプ	80L/min 130W φ30 自動変速運転 2台
槽本体	FRP
パイプ類	PVC、PPまたはPE
フッポリ	PPまたはFRP
消濁剤	固形塩素剤

配管仕様

需出配管 (フロロ用)	VP
上中配管	φ4.0以下~VP・φ5.0以上~VV
槽内配管	φ4.0以下~VP・φ5.0以上~VV
フッポリ仕組	

- 注1) 上部は歩行者荷重とする。
- 注2) 機器重量は単機100Vとする。
- 注3) 図中の「G、L」は単機位置での仕上げレベルを示す。
- 注4) 浄化槽からフロロまでの距離は5m以内とする。
- 注5) 流入管・放流管は別途とする。又接続工事は浄化槽工事範囲外とする。
- 注6) 臭気工事は別途とする。又接続工事は浄化槽工事範囲外とする。
- 注7) フロロ付近に「又付きコンベヤ」を設置すること。設置は浄化槽工事範囲外とする。
- 注8) 岩盤掘削工事、地盤改良工事は別途とする。
- 注9) 地下水面が掘削面よりも高い場合、排水が必要の場合には、GRC板抜き使用しないこと。
- 注10) 地耐力は40kN/m²以上必要とする。(要領の工事業者が掘削後の地耐力を確認すること)
- 注11) GRC板抜き掘削には、兼手で作業しないこと。
- 注12) GRC板抜き後の平均深さは±50mm以内とする。

放流ポンプ槽仕様

排気管	VU36
電線管	VED36

- 注1) 放流ポンプ槽の排気管は必ず接続すること。接続工事は浄化槽工事範囲外とする。
- 注2) 排気管の放出高は、槽内の最大水位より100mm以上 (5号) 以上に設置すること。
- 注3) 排気管は雨水配管や放流配管、他の排水配管と絶対に合流接続しないこと。
- 注4) 排気管は途中水漏り防止のようなV字配管にしないこと。
- 注5) 電線管の面積はシリコンラントなどで必ずキーリング処理のこと。
- 注6) これらの処理を怠ると、浄化槽内で発生したガスが化槽内、および電線管の接続点付近に設置している設備・機器の腐蝕を促進し、機器故障・障害の生ずるおそれがあります。

施工高さ範囲

MH	項目	高さ	流入管底	放流管底	施工高さ
簡易	最小寸法 (この図面)	50H	G、L-320	G、L-220	1730H
	標準寸法	300H	G、L-570	G、L-470	1980H
	最大寸法	100H	G、L-390	G、L-290	1800H
	最小寸法	300H	G、L-590	G、L-490	2000H

注) 製品全高は、製品規格で10.0~2.0mmの公差があります。流入・放流管底は、製品規格で製品全高に對し±10mmの公差があります。

名称 CA-5放流ポンプ槽 (歩行者荷重)

浄化槽構造図・配管図 (GRC板仕様)

設計年月日	設計	検図	図番	縮尺
2022.04	戸 刃	飯 野		1/20

フジワライ工業株式会社